

この夏、 子どもの不思議と一緒に

特集の最後は、上原諒さん、之映さん親子の自由研究の様子を紹介
します。諒さんはなぜオカヤドカリの研究を始めたのか。保護者の
関わり方は。2人の取り組み方を参考に、親子で自由研究に挑戦し
てみましょう。



1_真栄里海岸がいつもの調査スポット。諒さんとお母さんだけの時間が流
れます。2_オカヤドカリとムラサキオカヤドカリと一緒に。3_これまで
の研究はしっかり綴って確認しやすくしています。水分補給も忘れずに。
4_オカヤドカリの種類や大きさ、宿貝の種類など調べたい事を記録します。
5_採集したオカヤドカリたち。記録したら速やかに元いた場所へ戻しま
す。6_方形枠調査の様子。1メートル四方にどれだけオカヤドカリが
いるか調査します。7_このオカヤドカリの種類はなんだろう？ 8_眼柄の形や
斑の有無などで種類を見分けず。この種はムラサキオカヤドカリ。9_
10_オカヤドカリの大きさは前甲や左第二歩脚の指節の長さを測定します。



真栄里海岸に天然記念物が！

「去年の夏、真栄里海岸に訪れた時に、
浜辺や護岸沿いにヤドカリがたくさん
いるのを見つけたので、調べてみ
ると国の天然記念物に指定されてい
るオカヤドカリということがわかり
ました。真栄里海岸にどれくらいの
オカヤドカリがいるんだろうと興味
が出て調べようになりました」とオ
カヤドカリの研究を始めたきつかけ
を話してくれたのは、糸満市立糸満
南小学校5年生の上原諒さん。
今年で研究2年目を迎える諒さんが
どのように研究をしているのか、そ
の様子を覗いてみました。

どんな発見があるかな

オカヤドカリが天然記念物に指定さ
れているため、去年は直接触って調
査をできなかった諒さんですが、今
年はオカヤドカリの研究に向けて特
別な許可をもらい、準備万端で観察
をスタート。「今年観察できたオカヤ
ドカリの宿替え行動が面白かったの
で、宿貝とオカヤドカリの関係につ
いても調べたい」と研究の意気込みを
語ってくれました。

まずは、1メートル四方の範囲内に
どれくらいのオカヤドカリがいるの
かを調査。採集したオカヤドカリの
種類や大きさ、宿貝の種類など1匹
ずつ丁寧に調べて記録を残します。
この日の調査では合計105匹のオ
カヤドカリを記録して調査終了。
たくさんいたようにみえたオカヤド
カリですが、去年と比べると少ない
方だとか。これから夏休み中に何度
か調査を行い研究の内容を深めてい
きます。今年は何んな発見があるの
か楽しみです。

子どもの疑問を大事に

「子どもの疑問の際には、自分も一緒
に楽しむことを心がけています。自
分も興味を持つと新たな発見があっ
て楽しい。ただ、昆虫だと無理かもし
れませんが」と笑って話すのは、諒さ
んのお母さんの之映さん。

「子どもの疑問を大事にして、数につ
いて知りたいのであれば、数を調べ
るためにはどのような方法があるの
か、先行研究ではどのような方法を
採用しているのかなどを調べます。
子どもでは論文や先行研究の資料を
探すのは難しいので、大人である自
分が調べてあげて、子どものなぜが
解決できるよう道筋をたててあげて
います」と、自由研究における之映さ
んの関わり方を話してくれました。

糸満には自然がいっぱい

最後に、「この研究をするようになっ
て、天然記念物のオカヤドカリが身
近にいるなど、糸満の自然の豊かさ
を学びました。この研究で糸満の自
然が守られるようになると嬉しいな」と諒さんの想いを話してくれました。

